

(講座) 臨床薬学
(氏名) 中嶋幹郎

(研究室) 病院薬学
(職名) 教授

【研究テーマ】

1. 後発医薬品の適正使用に関する基礎的および臨床薬学的研究
2. 臨床での調剤・医療コミュニケーションを基盤とする実学研究
3. 医薬品の薬効・副作用に関する評価法の開発

【発表論文】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. T. Yoshioka, S. Yoshida, T. Kurosaki, M. Teshima, K. Nishida, J. Nakamura, M. Nakashima, H. To, T. Kitahara, H. Sasaki: Cationic liposomes-mediated plasmid DNA delivery in murine hepatitis induced by carbon tetrachloride, *J. Liposome. Res.*, **19**, 141-147 (2009). (IF:1.875)
2. H. Fukuchi, M. Nakashima, R. Araki, N. Komiya, M. Hayano, K. Yano, H. Sasaki, E. Yukawa: Effect of obesity on serum amiodarone concentration in Japanese patients: population pharmacokinetic investigation by multiple trough screen analysis, *J. Clin. Pharm. Ther.*, **34**, 329-336. (2009). (IF:1.755)
3. S. Fumoto, M. Tsuchimochi, J. Nishi, H. Ishii, Y. Kodama, M. Nakashima, H. Sasaki, J. Nakamura, K. Nishida: Liver- and lobe-specific gene transfer following the continuous microinstillation of plasmid DNA onto the liver surface in mice: effect of instillation speed, *Biol. Pharm. Bull.*, **32**, 1298-1302. (2009). (IF:1.765)
4. S. Fumoto, J. Nishi, H. Ishii, X. Wang, H. Miyamoto, N. Yoshikawa, M. Nakashima, J. Nakamura, K. Nishida: Rac-mediated macropinocytosis is a critical route for naked plasmid DNA transfer in mice, *Mol. Pharmaceut.*, **6**, 1170-1179. (2009). (IF:4.565)

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. Y. Ohwaki, R. Araki, R. Tominaga, H. Terazono, H. To, H. Sasaki, M. Nakashima, Effects of antiarrhythmic agents on beating rhythm of cultured cardiomyocyte networks on an agarose microchamber chip, The Second Asian Symposium on Pharmaceutical Sciences, Nagasaki (2009)

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 中嶋幹郎、梅野繁智、北村真秀子、西田孝洋、中村純三、手嶋無限、佐々木

均、電気生理学的手法を用いた市販点眼剤の角膜障害性の比較、日本薬学会第129年会、平成21年3月、京都

2. 植木哲也、長井恵子、粟屋幸一、伊藤重彦、中嶋弥穂子、中嶋幹郎、抗菌薬のAUD算出時に用いるDDD設定量の問題点、日本薬学会第129年会、平成21年3月、京都
3. 荒木良介、八坂貴宏、向江俊彦、平井聖人、大脇裕一、西田孝洋、中村純三、中嶋弥穂子、中嶋幹郎、市販注射薬の先発医薬品と後発医薬品における同等性の検討(1):細胞障害性による比較、第17回クリニカルファーマシーシンポジウム、平成21年7月、京都
4. 大脇裕一、立石 徹、梅野繁智、北村真秀子、西田孝洋、中村純三、中嶋弥穂子、中嶋幹郎、OTC医薬品を用いたセルフメディケーションの利用者コスト:スイッチOTC薬と医療用医薬品との比較、第17回クリニカルファーマシーシンポジウム、平成21年7月、京都
5. 植木哲也、長井恵子、大江宣春、中嶋弥穂子、中嶋幹郎、入院患者における便秘発症の危険因子に関するケース・コントロール研究、第19回日本医療薬学会年会、平成21年10月、長崎
6. 宮元敬天、松枝 慧、麓伸太郎、中嶋幹郎、佐々木均、西田孝洋、低体温療法時における薬物動態変動のin vitro肝ホモジネート実験系による予測、第19回日本医療薬学会年会、平成21年10月、長崎
7. 中嶋幹郎、北村真秀子、辻麻衣子、梅野繁智、西田孝洋、中村純三、手嶋無限、佐々木均、点眼剤使用時の角膜障害性評価法としての電気生理学の実験法の有用性、第19回日本医療薬学会年会、平成21年10月、長崎
8. 田代浩幸、上島泰二、竹内理恵、西村美穂、濱田光洋、池田理恵、大脇裕一、和田光弘、中嶋幹郎、中島憲一郎、薬剤師が運営する服薬指導支援サイト「POS-World」によるエビデンスに基づく情報提供、第71九州山口薬学大会、平成21年11月、大分
9. 荒木良介、八坂貴宏、藤井貴玄、田中栄美、向江俊彦、大脇裕一、西田孝洋、中村純三、中嶋弥穂子、中嶋幹郎、市販注射薬の先発医薬品と後発医薬品における同等性の検討(2):塩酸リトドリン注射薬の品質比較、第26回日本薬学会九州支部大会、平成21年12月、福岡

【研究費取得状況】

1. オンチップ細胞計測技術を用いた心毒性評価法の開発と後発注射薬の品質試験への応用、日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究(C) (研究代表者)

【学会役員等】

1. 日本医療薬学会評議員
2. 日本TDM学会評議員

3. 日本ジェネリック医薬品学会評議員
4. 九州山口薬学会理事
5. 長崎県薬剤師会理事

【過去の研究業績総数】

| | | | | |
|--------|------|------|------|------|
| 原著論文 | (欧文) | 80 編 | (邦文) | 28 編 |
| 総説 | (欧文) | 1 編 | (邦文) | 5 編 |
| 著書 | (欧文) | 1 編 | (邦文) | 7 編 |
| 紀要・その他 | (欧文) | 1 編 | (邦文) | 21 編 |
| 特許 | | 1 件 | | |